

オランダ下院選は与党が勝利

EU懐疑的な自由党は敗北、政権参加は困難に

欧米調査部上席主任エコノミスト

吉田健一郎

03-3591-1265

kenichiro.yoshida@mizuho-ri.co.jp

- オランダの下院選挙では与党・自由民主国民党（VVD）が全150議席中、33議席を獲得して勝利した。反イスラムを掲げるEU懐疑政党である自由党（PVV）は20議席の獲得にとどまった。
- ルッテ首相は再任される公算が大きい。しかし、連立には左派政党を含めた最低4党の参加が必要となり、協議は難航、長期化が予想される。
- 欧州におけるポピュリズム政党台頭の波は、オランダでは阻止される形になった。欧州の選挙における注目は、4月23日のフランス大統領選挙に移る

1. 与党・自由民主国民党が比較第一党、ウィルダース党首の自由党は伸び悩み

3月15日に投開票が行われたオランダの下院選挙は、マルク・ルッテ首相が率いる与党・自由民主国民党（VVD）が全150議席のうち33議席を獲得して比較第一党となった¹。反イスラムを掲げるEU懐疑政党である自由党（PVV、ヘルト・ウィルダース党首）は、20議席の獲得にとどまった。選挙結果を受けて、PVVの政権入りは難しくなった。

2017年初は30議席をうかがう勢いであったPVVは、選挙戦の終盤に失速した。PVV失速の背景

図表1 オランダ下院選挙の結果

	政党名	2012年 選挙結果	世論調査 3月12日	2017年 選挙結果	議席増減	
右派 ↑ 左派 ↓	カルピン党(SGP)	3	3	3	0	
	自由党(PVV)	15	22	20	5	
	自由民主国民党(VVD)	41	24	33	▲ 8	現与党
	キリスト教民主アピール(CDA)	13	22	19	6	
	民主66(D66)	12	17	19	7	
	50プラス(50plus)	2	5	4	2	
	労働党(PvdA)	38	9	9	▲ 29	現与党
	キリスト教連合(CU)	5	5	5	0	
	動物党(PvdD)	2	4	5	3	
	グリーンレフト(GL)	4	20	14	10	
	社会党(SP)	15	15	14	▲ 1	
	その他		4	5	5	
	合計		150(過半は76)			
		中道右派連合(VVD+CDA+D66)	66	63	71	5
	現与党(VVD+PvdA)	79	33	42	▲ 37	

(注) 選挙結果は、東京時間3月16日16:00時点のオランダ放送協会(NOS)発表によるもの。

(資料) Peil、NOSより、みずほ総合研究所作成

としては、VVDのルッテ首相が反移民の姿勢を強めたことや、選挙直前に行われた党首討論でウィルダース党首に対して優勢に議論を進めたことなどが挙げられる。

選挙結果は、前頁図表1の通りで、概ね事前の世論調査に沿ったものといえる。P V Vによる予想外の高得票等は見られなかった。最大の躍進はグリーンレフト（G L）で、2012年の前回選挙より10議席を増やし、14議席を獲得した。他方で、現在VVDと連立を組む左派・労働党（PvdA）は前回選挙より29議席を減らす大敗を喫した。

2. ルッテ首相の再任が濃厚も、今後の連立協議は難航

VVDが比較第一党となったことから、ルッテ首相の再任はほぼ確実となった。しかし、同党の獲得議席数は過半（76議席）には及ばず、これから始まる連立協議は難航が予想される。ルッテ首相は、P V Vとの連立を否定しており、P V V以外の党との連立が模索されることになる。

連立には最低4党の参加が必要となる。VVDが組みやすい連立相手として、右派・キリスト教民主アピール（CDA）と中道・民主66（D66）の二党がまず挙げられる。しかし、VVD、CDA、D66の3党の獲得議席総数は71議席と、過半議席には5議席足りない。

単一の党としては、16議席を獲得したG L、14議席を獲得した社会党（S P）、9議席を獲得したPvdAのいずれかを連立に組み入れれば過半議席を大きく上回ることが可能だ。しかし、与党の中に埋もれて歴史的な大敗を喫したPvdAは連立の参加には前向きではない。今回の選挙で躍進したG Lのイエッセ・クラヴァー党首は連立政権入りの可能性を除外してはいないが、右派・中道の3党との政策面での隔たりが大きい。

今後は小政党も含めた合従連衡の動きが進むと予想される。第二次大戦後のオランダの平均組閣日数は88日であり、2010年の第一次ルッテ政権では組閣まで127日を要した（図表2）。今回は最低でも4党という多党間での連立協議となり、従来より組閣に時間を要する可能性がある。

今回のオランダ下院選挙は、欧州におけるポピュリスト政党台頭の動きを占う試金石と位置付けられていた。ルッテ首相は、出口調査発表後の支持者への演説で「今夜、オランダ国民はBrexitと米大統領選挙後の誤ったポピュリズム（の台頭）に対して『N O！』を宣言した」と述べた。

注目は4月23日に開催されるフランスの大統領選挙に移る。

図表2 オランダの過去の組閣までの日数

	選挙実施年	選挙から政権発足までの日数	首相
政権発足が円滑：トップ3	1948年	31	ドレース
	1946年	48	ベール
	1967年	49	デ・ヨング
	過去平均（第2次世界大戦後）	88	-
政権発足が難航：トップ3	2010年	127	ルッテ
	1972年	163	デン・アイル
	1977年	208	ファン・アフト

（資料）Parlement&Politiekより、みずほ総合研究所作成

¹ オランダ放送協会（NOS）による東京時間 16日 16：00 時点での速報値。

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。